

あやまれ、つぐなえ、なくせ アスベスト被害

国は全面解決へ協議を

「ほぼ完勝」の高裁判決

3月14日の一人親方への賠償責任を認める東京高裁の画期的な判決後も、首都圏建設アスベスト訴訟統一本部は早期全面解決を求めて連日行動を繰り返してきましたが、3

月23日には日比谷野外音楽堂に2719人を集めて、大集会を行いました。

主催者あいさつで松丸一雄本部長（東京土建委員長）は「東京1陣が提訴して10年になる。たたかい抜いた10年だ。

東京高裁の判決は屋外作業者が除外されたことやメーカー責任の免罪など納得がいかない点はあるが、国との関係ではほぼ完勝と言える内容だった。大阪高裁では和解勧告も出されている。国は私たちが真摯に向き合い、全面解決に向け協議すべきだ」と話しました。

を中央で、地域で引き続き行うこと、②国会議員の賛同を

命を守れ福島と共に

雪の中代々木に1万2千人

広げること、③公正判決を求める署名を集めること、を行動提起しました。

集会終了後、参加者は「国や企業は被害者に謝罪しろ」「補償基金を創設しろ」などとコールしながら霞が関デモを行いました。

「補償基金を創設しろ」などとコールしながら霞が関デモを行いました。



起立した東京の原告を代表して決意表明する宮島さん

3月14日判決について佃俊彦弁護士が詳細に報告、宮島和男原告団共同代表（豊島）などの原告決意表明、国会議員からのあいさつがあった後、年森隆広事務局長が①国に和解協議を求める大衆行動



降りしきる雪にも「原発なくせ」の熱い思いで連帯

「バイバイ原発」とパン、ゼロノミックスの歌声が響きます。福島第1原発の重

大事故から7年、季節はずれの雪で厳しく冷え込む中、3・21さようなら原発全国集



ドラム隊を先頭に練馬のパレード

【練馬・書記・田崎遊記】東日本大震災・東京電力福島第一原発事故から7年の3月11日、「脱原発☆練馬でもデモ」が練馬1丁目公園で行われました。練馬支部も参加する「さよなら原発ねりまアクション実行委員会」の主催で、全国規模の集いに合わせて、「原発やめて未来を」のテーマで、練馬のまちを練馬支部32人を含む250人の参加でした。地域で自然エネルギーによる市民発電所に取り組むNPOや区内で避難者支援、脱原発の活動をする市民団体のスピーチ、14時46分の黙とうのあと、練馬駅周辺をパレードしました。ドラム隊のリズムに合わせて、「原発やめて未来をつくらう」「安倍政権は原発やめろーやめられないなら首相を辞めろー」などとコールしながら、イメージカラーの黄色の「原発なくせ」の再稼働反対のプラカードを掲げながらパレードしました。3・11当日のこともあり、「原発なくせ」という訴えに沿道の見守りも高く、手を振りながら応援する区民も大勢いました。

会が行なわれ、1万2000人（東京土建からは314人）が参加しました。主催者あいさつで、作家の落合恵子さんが「私たちの安全保障とは1、原発をなくすこと、2、在日の米軍基地を廃止すること、3、改憲をさせないこと。二言目は『国難』という官邸の方に『国難はあなたたちなのだ』と返しましょう」としめると歓声が沸きました。

脱ひばく子ども裁判の会、被爆労働者、自主避難者などのたたかひの報告、また韓国からの連帯のスピーチが続きました。原発ゼロ法案を提案した原発ゼロ自然エネルギー推進連盟事務局長の河合弘之さん（映画監督）は「原発がゼロ、自然エネルギーで回る安全で豊かな社会を作りましょう。そのために手をつなぎましょう」と訴えると賛同する声に会場は包まれました。

許さない9条改悪

地元国会議員に単独要請

森友学園とこの日の行動に先立ち、議員会館会議室で集会を行いました。憲法第9条の改正を中心とする憲法改正に反対する要請書を読み上げ、防衛省職員に直接手渡ししました。また参加者からは米軍による事故多発問題や補償問題、オスプレイの運用状況などについて職員に質問をしました。

緊迫する国会の情勢については、笠井亮衆議院議員（共産）から、安倍政権が国民と国会をだまし次々と明らかにする改ざん問題と改憲をめぐる国会内外のさまざまな動きについて報告を受け、学習しました。

杉並 社会保障の充実を

税務署交渉粘り強く

3月13日、杉並での重税反対統一行動は高円寺の蚕糸の森公園での集会で開始。東京土建をはじめ10団体から206人が参加しました。

主催者代表であいさつした杉並支部の村田幸夫副委員長は「政府は本気で景気回復をめざすなら、10%消費税増税は中止し、社会保障の充実、賃上げをすべき。憲法改悪、戦争できる国づくりを阻止しましょう」と話しました。

また中村昌子税務対部長が税務署交渉での交渉内容と回答

を報告。「前回と同様の回答だが、めげずに今後も交渉を続け、納税者の権利を守りましょう」と訴えました。

藤祥司さん（下高永福分会）は「町場の大工ですが、仕事はかんばしくないです。消費税増税は法人税減税の穴埋めに使われるというのが常識。福祉、社会保障の充実のために税金は使ってもらいたい」と話していました。集会終了後、参加者は杉並支部までデモ行進しました。

デモ行進しました。

デモ行進しました。

西多摩 消費税増税ノーマイナンバー廃止せよ

今年で48回目となる重税反対西多摩統一行動が、3月13日に桜見童公園にて開催され、東京土建を中心に約600人の仲間が集まりました。



集会アピールを読み上げる秋本副委員長

館そばの桜見童公園に会場を変更。来賓あいさつ、基調報告の後、集会アピールで秋本晴夫副委員長より「消費税増税中止」「改憲阻止」「戦争

法・マイナンバー廃止」などの訴えがありました。

3・13重税反対統一行動



杉並税務署に向け行進する参加者

デモ行進しました。

デモ行進しました。

デモ行進しました。